

さくらユウワ旅レポート

第11回ユウワ旅 in 台湾に行ってきました！(4月21日～25日)

令和5年4月21日から25日に今回で第11回目になるさくらユウワ旅で台湾へ行ってきました。3年ぶりの実施ですが、本年度も福岡・熊本・鹿児島より様々な業種の方々にご参加いただき、総勢23名でのツアーとなりました。

台湾基礎知識

面積：3万6千km²(九州よりやや小さい)

人口：約2,326万人

主要都市：台北・台中・高雄

言語：中国語・台湾語・客家語ほか

宗教：仏教・道教・キリスト教

旅の行程

◆4月21日(1日目)

午後：福岡空港にて団結式 台湾へ

専用バスで台北市内へ

新竹サイエンスパークミュージアムの見学

夕食後 礁溪温泉へ

◆4月22日(2日目)

午前：宜蘭市内の日本統治時代の街並み見学

(宜蘭設置記念館・宜蘭文学館)

午後：新竹サイエンスパーク視察

：台中市内日本統治時代の建築物・遺産見学

(台中駅・宮原眼科)

◆4月23日(3日目)

午前：鳥山頭ダムの見学

：ゆかりの地見学

午後：台南市内日本統治時代の建築物・遺産の見学

(林百貨店・台湾文学館)

高雄市内日本統治時代の建築物・遺産見学

(美麗島駅・旗山小学校)

◆4月24日(4日目)

午前：高雄多功能経済貿易園区視察

新幹線で台北へ

午後：中正記念堂・中山堂見学

◆4月25日(5日目)

11：20 福岡着 解散

新竹サイエンスパークミュージアム視察

新竹サイエンスパークは、台湾に科学技術産業を根付かせることを目的とした国家の計画経済の一環として、1980年に創設されました。新竹、龍潭、竹南、銅鑼、新竹バイオ及び宜蘭の6基地に分けられ、

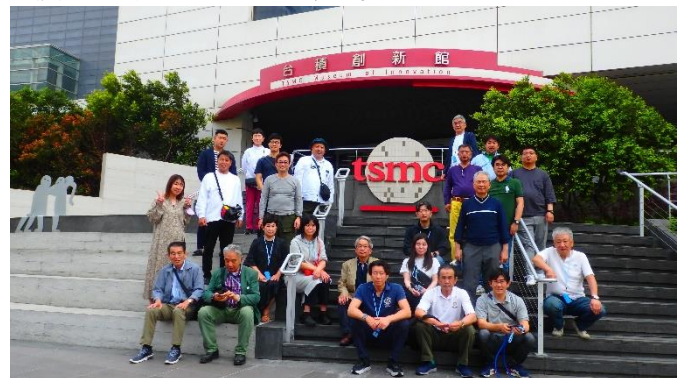
総開発面積は1,375ヘクタール、入居が許可された会社数は600社以上、就業人口約17万人です。広大な敷地にグローバルに活躍する台湾企業が本社や研究施設、工場を構えているほか世界各国の先進科学企業の工場や支社も置かれています。

今回はこちらに併設されているミュージアムを見学させていただきました。1階の展示品には、その年の最も革新的な製品のための毎年恒例のコンテスト「イノベーションアワードセクション」を受賞した製品があります。2階ではサイエンスパークの歴史などがわかるような展示になっています。

TSMC視察！

2日目は新竹サイエンスパーク内にある、熊本進出で話題のTSMCを視察しました。といっても取引先企業できちんと身分登録もしていなければ、TSMC内に入ることは許されません。また、取引先でも中国人と韓国人は絶対に入れないということでした。現地企業で経営をしている方が面会ロビーのような場所に連れて行ってくれましたが、セキュリティゲートの外であるにもかかわらず写真の撮影は禁止でした。

警備員の方が見守る中、TSMC本社に付設されている台積創新館の前で写真撮影。



現地ガイドの方に聞いたのですが、台湾人の平均年収は2～300万円なのに対してTSMCのエンジニアの平均年収は1,500万円、部長クラスになると5,000万円を超えることもあるそうです。ただしとても激務であるそう。

親日国台湾を知る

3日目はまず午前中に日本人の水利技術者八田與一さんが建設を監督したといわれる鳥山頭ダム^{鳥山頭ダム}の視察へ。八田與一さんのことは皆さんご存知でしょうか？私は当日まで知りませんでした。このダムは1920年に着工され、完成した1930年の当時は東洋一の規模を誇るものでした。嘉南平原の農業灌漑を主目的として建設され、ダム完成後に台湾最大の穀倉地帯になりました。このダムを建てた八田與一さんの功績に関して、台湾の人々は非常に感謝しており、教科書に載るほどだといえます。

午後からは日本統治時代の建築物・遺産を見学しました。とても興味深かったのは林百貨店^{林百貨店}。こちらは1930年に日本人の実業家、林方一さんが創設しました。6階建ての建物は当時でもすごく目立っていたため、空襲の際の目印にもなってしまったそうです。そのため6階の屋上に祭られている神社の鳥居や壁には、弾丸の跡が生々しく残っています。悲しい歴史の背景もありますが、今はかわいい雑貨ショップやおしゃれなカフェがテナントとしてはいつている大人気の観光スポットになっています。



世界で2番目に美しい?!美麗島駅

「美麗島駅」は2008年に完成し、駅構内の「光之穹頂（光のドーム）」は、2本の柱を支柱とし、ドーム型に4500枚のステンドグラスが輝く美しい駅です。イタリアの著名なステンドグラスアートの芸術家ナルシサス・クアグリアータ（Narcissus

Quagliata）氏が、4年半の歳月をかけて製作し、2015年9月からは、ステンドグラスの色が幻想的に変わる光のショーも行われています。ちょうどよいタイミングで光のショーも見ることができました。



バイク王国台湾

台湾ではやはり半端なくバイクの利用者が多かったです。現地の写真を撮影するとどこかしこにバイクが写りこんでくるほどです。台湾の人口は2,326万人とご紹介いたしましたが、人口の半分ほどバイクの登録数があるそうです。2人に1人はバイクを持っている計算になります。

市場の視察

地元の方が利用する朝市も視察しました。あまり見たことのない野菜や果物があふれとても活気がありました。さくらユウワ旅は一般的な観光ツアーではあまり行かない場所を巡る為、その土地の事を深く知ることが出来ます。

今回の旅を振り返って…

今回で11回目の旅でした。コロナもあり久しぶりのさくらユウワ旅でしたが、親日家が多く、日本となじみの深い台湾は安心して旅を楽しむことができました。コロナも収束してきましたし、次回12回目も皆様の良き場となるよう企画中です。皆様のご参加お待ちしております。 【竹下 香織】